



▲モデル校で実施されている「放課後子ども教室事業」

## 平成19年度府中市一般会計予算 801億1000万円を可決

第1回定例会 23議案を審議

安心 ゆとり やさしさに満ち、  
人と文化が輝く魅力ある  
まちづくり予算

平成19年第1回定例会は、2月19日から3月15日までの25日間の会期で開催されました。  
市長提出議案は、平成19年度府中市一般会計予算をはじめ、平成18年度府中市一般会計補正予算(第3号)など23件を審議した結果、可決22件、同意1件となりました。  
また、陳情7件が審議されました。

平成19年度一般会計予算は、

予算総額が歳入・歳出それぞれ801億1000万円、前年度に比べ6.0%の増となっています。

提案に当たり、市長から、「市財政を取り巻く状況について、我が国の経済は、消費に弱さが見られるものの、企業収益は改善し、これが家計部門に波及して、国内民間需要に支えられた景気の回復が続くと見込まれている。」

本市においては、平成17年度の行政サービス度が、全国802の区市の中で、第17位という新聞報道のとおり、高い行政水準を達成するとともに、財政面においても極めて順調に推移し、財政建て直しの一つの区切りをつけることができた。

このような中、19年度予算では、市民会館・中央図書館複合施設の開設を始め、障害者の就労支援施設の開設、放課後子ども教室事業の実施、けやき並木整備計画の策定や廃棄物の安定的処理などに取組みとともに、小・中学校の耐震改修を初めとする各種施設の改修にも着実に対応するなど、福祉、教育、環境、観光、防災などを重視した「安

心 ゆとり やさしさに満ち、

人と文化が輝く魅力あるまちづくり予算」と名付け、予算編成を行った。

これにより、新たに18事業を立ち上げるとともに、21事業のレベルアップと19事業の見直しを行い、この結果、ここ10年間で起債の借り換えのあった16年度を除くと最大の予算規模となっている」との説明がありました。

3月7日から13日まで開催された予算特別委員会で慎重な審査が行われました。

3月15日の本会議で、賛成・反対討論が行われ、「事務事業評価をもとに各事業を検証し、それを踏まえて、今後の多様化するニーズにこたえる努力をしてきたことを評価し、賛成する」、「各事業が限られた予算の中で、市民に最大のサービスを提供するものであると評価し、賛成する」、一方、「多くの市民の生活を支える予算とは言い難く、更にいくつかの政策決定過程の不透明さは、市民自治の視点からも問題であるので、反対する」、「財政健全化に区切りがついたにもかかわらず、住民の福祉を増進する機関としての役割を發揮した予算となっていないの

で、反対する」等の意見がありました。  
採決の結果、賛成多数で平成19年度一般会計予算が可決されました。

(関連記事2・3ページ)

### 主な施策

- 新規事業
- 木造住宅耐震診断後建替補助
- マンション耐震診断に対する補助
- 障害者就労支援施設の運営開始、整備(農園、茶屋)
- 放課後子ども教室事業の実施
- 市民会館・中央図書館複合施設の開設
- 地域防災計画の見直し
- 児童手当の拡充
- 市民提案型市民活動支援事業補助金の対象拡充

### 人事議案

定例会最終日の本会議に、副市長の選任の同意を求める議案が提出され、次の方が同意されました。

田中健司氏(64歳)

※地方自治法の一部改正により、助役制度から副市長制度に変わることに伴い、前助役の中島信一氏が4月1日付けで副市長となり、今回同意された田中健司氏と副市長2人制となりました。